

文学	叙事詩	『イリアス』は_____戦争の物語、『オデュッセイア』の二大英雄叙事詩を著した盲目の詩人
	抒情詩	『労働と日々』で勤労の尊さをうたい_____制社会では異色、『神統記』で神々の系譜
	悲劇詩人	_____の地位が低かったギリシアで唯一の女流詩人、甘美な恋愛詩 『アガ멤ノン』『ペルシア人』などが代表作で、神話伝説やペルシア戦争に題材を求める 『オイディプス王』で肉親相剋の宿命を描く
	喜劇詩人	『メディア』や、ペロポネソス戦争中に発表した『トロヤの女』 『女の平和』『女の議会』などの反戦劇、_____が登場する『雲』など
美術	彫刻	『アテナ女神像』は代表作、パルテノン神殿の工事監督
	建築	◇ドーリア式〔重厚、柱頭は鉢形〕 ◇イオニア式〔優雅、柱頭は渦巻形〕 ◇コリント式〔華麗、柱頭は葉形〕 ・_____神殿 ペリクレス時代に復興されたアテネの守護神殿、ドーリア式
哲学	◇自然哲学	イオニアの植民市ミレトスに興る、万物の根源（アルケー）を追求し、自然現象の合理的な説明をもくろむ 「万物の根源は水である」、イオニアの自然哲学の創始者、日食を予言 「万物の根源は数」、ピタゴラスの定理 「万物の根源は火」、「万物は流転する」と説き弁証法の祖とよばれる 「万物の根源は原子（Atom）である」と説き、唯物論の祖とよばれる
	◇ソフィスト	前5世紀アテネで観察の対象は自然から人間に移る、Sophistes = 智者と称する人々で客観的真理を軽視 「人間は万物の尺度」と説き、真理の主観性・相対性を主張したソフィストの代表者 「無知の知」を説き客観的真理を追求、ペロポネソス戦争後のポリス衰退期のアテネで人間の徳を求める ソクラテスの弟子で「イデア論」を展開、墮落した民主政治に絶望し『国家論』で哲人政治を説く 諸学の祖といわれ、諸学問を体系化し『形而上学』を著す、_____大王の家庭教師
歴史		『歴史』で_____戦争を叙述、「歴史の父」又は「物語的歴史の父」とよばれる 『歴史』で_____戦争を叙述、史料の選択や批判が正確で「批判的歴史の父」とよばれる
医学		「医学の父」とよばれ、疫病の原因を科学的に追求し、病気には一定の生理的原因があることを説く

哲学	◇ストア派	個人主義的傾向が顕著になったヘレニズム期、禁欲主義を説く、幸福は禁欲により得られるアパテイア ストア派の創始者、アテネのストア（列柱廊）での講義が語源
	◇エピクロス派	快楽主義の生き方を説き、精神的快楽を最高善と説き、アタラクシア（心の平静）を理想とした
美術		『ミロのヴィーナス』『ラオコーン』『瀕死のガリア人』
自然科学	・ムセイオン	ヘレニズム世界の中心_____にあった王立研究所、大図書館を併設し多くの学者が活躍 『幾何学原理』を著し、平面幾何学を大成、「幾何学に王道なし」 てこの原理、浮体の原理、球体の求積法など、シラクサの数学・物理学者でポエニ戦争で殺害される 子午線の長さを測定（地球の大きさ）、天文学者でムセイオンの館長をつとめる 地球の公転と自転を説き、太陽中心説、月・太陽の大きさや距離を算定した天文学者

文学		『友情論』、散文家としてはラテン文学最高、共和政復興をもくろみ第2回三頭政治に反対し暗殺される 『アエネイス』はローマ建国叙事詩、_____時代に活躍したローマ最大の詩人 『抒情詩集』、アウグストゥスを讃え、サッフォーなどギリシア詩人に傾倒
哲学		ストア派哲学者で『幸福論』を著す、皇帝ネロの顧問として初期の政治を担うが、のち自殺に追いこまれた _____ ストア派哲人皇帝『自省録』を著す、_____帝の一人
歴史・地理		『ガリア戦記』は古ゲルマン社会を知る貴重な史料、ラテン語散文の名著 『ローマ建国史』はローマ建国からアウグストゥスまでの通史、名文家としても有名
	※	『対比列伝（英雄伝）』は、ギリシアとローマの偉人を組み合わせ（23組）比較論証した伝記集 『ゲルマニア』は古ゲルマン社会を知る貴重な史料、後100年頃のローマの平和の頹廃への戒めを意図 ※ 地理学者で『地理誌』を著す、ヨーロッパからインドまでの各地の自然・風俗などの地理と歴史
自然科学		『博物誌』で自然の豊かな知識を百科全書風に著す、ヴェスヴィオス火山の噴火の観察中に窒息死 ※ 『地理学』8巻を著す、地球球体説と天動説を説き中世カトリック教会に採用される
ローマ法	◇市民法	『十二表法』から ⇔ ◇万民法 『ローマ法大全』（ユスティニアヌス帝…東ローマ帝国）
土木建築		『_____（円形闘技場）』『凱旋門』・水道橋・軍用道路（アッピア街道）・公共浴場（カラカラ浴場）
実用知識		『_____暦』：エジプトの太陽暦を採用 『ラテン語』 『ローマ字』